

令和7年度 学校評価 西小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	子どもたちの「自律」を合言葉に、「考えて行動する子（＝人を愛し、ふるさとを想い、幸せのカタチを創造できる人）」が育つ、「明日も行きたくなる」学校づくりを進める。
本年度の重点目標	子ども・学校・保護者・地域が、「考えて行動する子」が育つ学校をめざし、子どもの声を生かしながら、「明日も行きたくなる」学校づくりに取り組む。

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校経営 生徒指導 保護者・地域 住民との連携	保護者・地域・学校が協働して子どもの声を生かす活動に取り組むことで、学校運営協議会の認知が進み、「明日も行きたくなる」学校に近づいているか。	B	花火大会、二宮金次郎映画鑑賞会、PTA 人権講演会、民間施設での水泳授業、クラブ活動など子どもの声を活かした活動で、地域の良さに目を向ける児童が増え、8割以上の児童が「学校が楽しい」と回答した。この状態が維持向上できるように方向性を継続する。
教育課程	指導方法の工夫改善	学習や生活の中で、子どもたちが自分で考え、決めて、行動する機会があり、自己選択・自己決定しながら取り組んでいるか。	B	学習中だけでなく、日々の生活の中でも自己選択・自己決定の機会を設けることで自分たちで考えて取り組むことができるようになってきている。引き続き自己選択・自己決定の場を設け、自ら考えて行動できるようにしていく。
課題教育	特別支援教育 人権教育	子どもたちが、互いに関わりながら、良さや違いを認め合う活動が行われ、思いやりのある関係づくりが進んでいるか。	B	たてわり班活動や西の日のノート交流など様々異学年交流や協同学習を通して互いの良さや違いを認め合う関わりが見られる。今後も良い関わりを認め、言葉にして価値づけることで、思いやりのある人間関係づくりを支援していく。

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「学校が楽しい」「友だちと仲よくしている」と回答する児童が8割を越えている。また、「地域の良さが言える子」が増えている。非常に良い結果であり、1年間の取組みの成果である。よって、学校運営や課題教育は「A」評価で良い。 ・情報モラルなどのネットリテラシーの向上と読書機会の少なさなどが課題である。親子座談会のテーマにする、図書室整備につなげるなど、人権意識や読書への関心を高める具体的な取組みがあると良い。
--

4 次年度の改善の方向性

<p>「自分が決める学び」をつくる授業改善、子どもの声を活かした「みんながつくる夢の図書室プロジェクト」、地域とつながる「学びの発信」を重点に、かどのスマイル西っ子隊（学校運営協議会）、西小PTA、葛野報徳自治振興会と連携協力しながら、「考えて行動する子が育つ、明日も行きたくなる学校」づくりを継続します。</p> <p style="text-align: right;">令和 8年 3月 9日 学校名 丹波市立西小学校 校長名 梅垣 泰三</p>
--